

自慢の野菜で、 食のコミュニケーションを

堆肥育ちでうれしい変化を、みんなで楽しもう

堆肥を使って育てたら野菜がどのように変化したか (財)日本土壌協会では栽培者の調査をしたところ、回答の多い順から、根の張りがよくなった、品質(秀品率など)食味が向上した、茎



堆肥育ちの野菜の魅力を伝えて楽しく交流

ががっちり育つ、収量が向上した、となりました。

堆肥で活力ある根が発達すると、肥料・水を過不足なく安定して、養分どうしバランスよく吸収して、葉・茎が丈夫に育ち、病害虫に強い体ができきます。そんな樹は、写真のピーマンのように、長く収穫を続けても疲れ

知らずで、元気な花が次々と咲いていきます。花が元気だと、左のようにタネの育ちがよく、そのため果肉は厚くて、虫眼鏡で見ると細かな網の目のような盛り上がりがいっぱい。みずみずしくて甘味があります。



次々と成って疲れ知らずのピーマン。雌しべが長くまっすぐ伸びた元気な花が咲き、肉厚で甘いピーマンに育ち、内側の肌は細かな盛り上がりがいっぱい(左)